

曾祖父母が戦争語る

コザ小「弟、妹に伝えたい」



沖繩市立コザ小学校・幼稚園（平田光秀校長）で、「平和を考える集会」が開



児童らが高江洲盛昇さん（右から2人目）とよし子さん（右）の戦争体験に耳を傾けた平和を考える集会＝21日、沖繩市のコザ小学校

かれ、同小2年の屋良ひなたさん（7）の曾祖父・高江洲盛昇さん（88）と曾祖母・よし子さん（84）夫妻が戦争体験を語った。集会は、琉球新報社NIE推進室の佐藤ひろこ記者が高江洲夫妻

にインタビュする形式で行われ、高江洲夫妻の語る戦争体験に、児童らは真剣な表情で聞き入っていた。

中国での戦闘に参加したという盛昇さんは、目の前に爆弾が落ちたときの恐怖や、戦後のシベリア抑留の体験を話し、「戦争という言葉が出ない社会を築いてほしい」と呼び掛けた。また、よしさんは沖縄戦当時、生後間もない赤ん坊を抱え、食べ物や着る物もない中、本島中部を逃げ惑った体験を語った。

児童を代表し、6年の友寄夢也くん（12）が「大好きな野球ができるのも平和な今があるから。今日の話をお忘れず、弟や妹にも伝えたい」とお礼の言葉を述べた。